

CONTENTS -目次-

	知事メッセージ	1
	平成19年度の三重県庁ISO14001の実績と評価	3
	(1) 重点目標の実績と評価	3
	(2) 環境に有益な事業	5
	(3) 環境工夫	8
	(4) 公共工事・施設設備・イベント他	9
	(5) 環境関連法規制等	9
	三重県庁の環境マネジメントシステム	10
	(1) ISO14001適用範囲と環境方針	10
	(2) 職員の環境教育	12
	(3) 環境監査	12
	環境にやさしい三重県庁をめざして	13
	(1) 地球温暖化防止への取組	13
	(2) 環境に関する事業の進捗	13
	(3) オフィス活動・施設管理	14
	(4) グリーン購入の取組	15
	(5) 環境に配慮した公共事業	17
	(6) エコイベントシステム	19
	(7) 環境に対する費用と効果	20
	(8) 多様な機関の環境マネジメントシステムの取組	21
	社会的取組の状況	22
	(1) RDF貯蔵槽爆発事故以降の安全性の確保	22
	(2) 産業廃棄物不適正処理事案への対応	22
	(3) 安全性の配慮以外の社会的取組	22
	(4) その他の安全性への配慮	23
	県民のみなさんとのコミュニケーション	24
	環境に関する表彰	25
	第三者コメント	26
	三重県の組織	27



[県民獣]カモシカ



[県の花]ハナショウブ



[県の木]神宮スギ



[県の鳥]シロチドリ



[県のさかな]伊勢えび

編集方針

三重県では、事務事業活動に伴う環境負荷の低減、職員の環境マインドの醸成、環境施策の推進等を目的としてISO14001の認証を取得し、継続的な環境活動に取り組んでいます。平成19年度におけるこうした取組の結果について、県民のみなさんへお伝えするために「環境報告書」を作成し、公表します。

本報告書は、「環境報告ガイドライン(2007年版)(2007年、環境省)」、「環境報告書の記載事項等の手引き(第2版)(2007年、環境省)」に基づき作成しています。

構成は目次のとおりですが、主なものとして、ISO14001に基づく環境活動を「平成19年度の三重県庁ISO14001の実績と評価」において、ISO14001以外の活動結果を「環境にやさしい三重県庁をめざして」において、安全性の観点からの取組については、「社会的取組の状況」において、それぞれご報告しています。特に、「環境にやさしい三重県庁をめざして」では、地球温暖化対策として温室効果ガスの削減に向けて取り組む「三重県庁地球温暖化対策率先実行計画」の活動結果や、三重県の全組織において取り組んでいるグリーン購入の活動結果の他、環境影響評価や公共事業における環境に有益な事業など、環境に配慮した三重県の公共事業について報告しています。

また、県民のみなさんとのコミュニケーションや環境に関する表彰について紹介し、三重大学 朴恵淑学長補佐からの第三者コメントを掲載しています。

【背景写真】 斎宮歴史博物館：1970年以来継続的に進められている発掘調査や研究の成果に基づき、斎宮の歴史を紹介するため、1989年10月に史跡の一角に開館した県立のテーマ博物館です。環境だけでなく、歴史や文化を思う気持ちも大切にしましょう。

※ISO14001：組織活動、製品及びサービスの環境負荷の低減といった環境パフォーマンスの改善を実施する仕組みが継続的に運用されるシステム(環境マネジメントシステム)を構築するために要求される国際規格のことです。
 ※グリーン購入：購入の必要性を考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを環境負荷の低減に努める事業者から購入することです。